

～ハケ岳歩こう会創立20周年記念～
甲州街道ウオーク
コースマップ

第7回 烏沢宿～笹子宿
2018年11月28日(水)

- ・ 距離 約19km
- ・ 解散 笹子駅 16:00頃
- ・ 担当者 田中哲夫
 和田宏
 重田友五郎
 田中憲一

- ・ 次回開催 第8回 笹子宿～鶴瀬宿
- ・ 2018年12月19日(水)
- ・ 距離 約14km
- ・ 集合 笹子駅(午前9時30分)

[猿橋]

日本三大奇橋の一つとして知られる。「周防の錦帯橋・木曾の棧橋・甲斐の猿橋」が奇橋として知られるようになった。国定忠治がこの橋から飛び込み、追手の役人から逃れたという話が有名だが、実際は鳥の傘という博徒だったようだ。橋は20年毎に掛け替えられてきたが昭和26年(1951)を最後にそのまま老朽化にまかせたため通行禁止となった。昭和59年に現在の橋が復元されたものの、幅はかつての2/3に縮小されている。復元前の橋は長さ31m、幅5.5m、水面からの高さ23mであった。

[駒橋発電所]

東京電力の初の水力発電所。門前には「送電の記念碑」もある。落差105mの水力発電所が明治38年に建設された。6本の送水管で1万8千キロワットを出力、西早稲田の変電所まで送電され、明治40年に麻布や麴町で最初の灯りをともした。現在では6本の送水管を2本にしてタービンを変えて出力2万1千キロワットを得るようになった。初期のタービンは現在発電所門前の庭に置かれている。

[下花咲宿・本陣星野家] (しもはなさきじゆく・ほんじんほしのけ)

江戸時代に本陣・庄屋・問屋場を勤め、農業・養蚕・織物・酒造・金融などを営んでいた郡内屈指の旧家。敷地は約500坪。現在の母屋は天保6年の焼失後再建したもの。建物が豪壮であるばかりでなく、意匠など本陣建築の性格をよく表している。昭和51年5月に本陣の典型的な遺構として、国の重要文化財に指定された。

[聖護院道興の歌碑] (せいごいんどうこうのかひ)

「今はとてかすみを分けて帰るさにおぼつかなしや初雁の里」という「廻国雑記」にある歌が刻まれている。

